

「おお朋だちよ いっしょに正しい力を併せ
われらのすべての田園とわれらのすべての生活を
一つの大きな第四次元の芸術に創りあげようでないか」
宮沢賢治 農民芸術概論綱要第一節より

私は、宮沢賢治の農民芸術概論綱要には
以下のような決意が書かれていると感じます。
「ともすればつまらないものと思ってしまう、日々の暮らしを芸術へと昇華させたい。
そしてそれが可能なのは農民なのだという考えにどうしても行きつく。
だからわたしは農民になり、それに挑みつける。
その道がいかに険峻で永久の未完成であったとしても…」

賢治が農民芸術概論綱要を執筆したのは1926年。
来年でちょうど100年になります。
年に一度は自然豊かな大岡に皆で集まり、
100年前の宮沢賢治の言葉に思いを馳せつつ、
楽しい時を過ごしたいと「小さな農民芸術祭」を企画しました。
皆様のお越しをお待ちしています。

私は9年前に、妙なる畑(自然農の畑)に立ちたい
という思いで大岡に移住してきました。
当日は、田畑の営み自体を一つの芸術と捉え、ガイドを務めさせていただきます。

小さな農民芸術祭実行委員長 祢津 尚

小さな 農民芸術祭



芸術という言葉を使う重みや捉え方は
人それぞれかと思いますが、
私たちの場合は、先に芸術があり、暮らしの中で田畑や植物を育てたり、
例えば料理や衣食住の何かを作ることを通して、
それこそが芸術、アートだと気がつく、自然界こそが芸術だと気がついた。
その上で野良仕事以外に何をするか、表現するかはそれぞれの個性の赴くままに。

「宇宙と自然と響き合い、
みんなと喜びを表現しよう。」

野良仕事の合間に見上げるお日さまの光、空の青や雲の形、
葉っぱや虫の様々な色や形、土や草の心地よさ、
鳥やカエルの鳴き声、雨音さえも響き合い、
渡る風が私たちを撫で包むのはなんて心地よいのだろう。
石や木が見ている、小さな小さな生き物が共にいる。
自然の中になると五感や感性が研ぎ澄まされていく。
宇宙の星々の中で共鳴して私たちは生きていることに気がつくのだと思う。

陶芸家・シャーマニックワークス RIE AOKI

小さな農民芸術祭 タイムライン

★午前の部

10時 集合(慶師集落道祖神前)
10時15分 妙なる畑案内
11時15分 農楽里にて自己紹介&フリートーク (水分補給)
12時 昼食&フリータイム
(出入り自由。大岡温泉でゆったりもお勧め!)

*午前より、Ayawo EndoとHIROは、それぞれフレスコ画、
アクリル画による公開制作をしています。

★午後の部

15時 集合(慶師集落道祖神前)~16時までフリータイム
16時 宴会スタート 歌、踊り、詩の朗読など
+アーティスト・トーク(Ayawo, HIRO, RIE)
20時解散

*参加費 一律1000円(軽食・おにぎり・汁物付き)/高校生以下無料

*マイ箸、マイ皿、マイカップご持参ください。

*16時からの宴会参加者は

ご自身の飲み物と一品持ち寄りをお願いします。

*昼、夜ともに軽食は用意いたしますが、必要に応じてお弁当などを
ご持参ください。

参加メンバー(カナ順)

- ・Ayawo Endo アーティスト (田んぼの泥を使用したフレスコ画の公開制作)
- ・岡田幹彦 よろこぶつ農園園主 (歌&ギター)
- ・にっこり農園なかしま 「ぬか茶ん」(完全無農薬米ぬかを煎ったお茶)
- ・祢津 尚 ひなたでにこにこ農園園主
(妙なる畑のガイドと農民芸術概論綱要の朗読)
- ・はじまるカフェ (クッキー等)
- ・HIRO 画家 (公開制作・屋外展示)
- ・Fabio Cesaratto アーティスト (絵画展示)
- ・山浦恵草 農民、パフォーマー、「浜茶屋日記」著者 (歌&ギター)
- ・マカリイ makali'i 二川ふみ・遠藤夏緒
(長野県有機農業研究会有志によるフラ)
- ・RIE AOKI(Noya) 陶芸家、シャーマニック・ワークス
(陶器、野草のお塩など)
- ・るみ・えみ・こと・チャー 山村留学生 (舞 古代神)

【小さな農民芸術祭 2025 申し込み】

午前と午後の通し参加: 参加費1,000円 (午前10時集合)

午前のみ参加: 参加費1,000円 (午前10時集合)

午後のみ参加: 参加費1,000円 (午後3時集合)

*高校生以下無料です。

*宿泊申し込み。男女別の相部屋になります。

寝袋持参者は1000円/布団使用者は1500円 (簡単な朝食つき)

*申し込み〆切: 8月31日です。



↑
お申し込みサイト